



ここへ来れば、何かと出会える！
つながりの場

気軽に集える場

出会いふれあいの場

団体活動をお手伝い

情報を集約し、提供する場。

活動サポートの場

NPO団体、地域組織（行政区や地域自治組織）、企業、行政など多様な主体がそれぞれの得意分野を生かしてつながりあうきっかけを提供。連携することでより大きな活動を！

大口町民活動センター

住民活動をサポートします！

日々の暮らしの中で、一度は関わりをもつ地域、子ども会、文化協会やまちづくり団体などの『住民活動』。町内で活動する113（平成29年6月現在）の団体が登録する「町民活動センター」は、それらの活動を陰で支えています。

住民が元氣なまち、大口町

平成12年の「大口町NPO活動促進条例」の制定以来、住民主体のまちづくり活動を積極的に進めてきた大口町。16年がたち、町内にはNPO法人9団体をはじめ、約70ものまちづくり団体が活発に活動しています。

それを支えるのが、「大口町民活動センター」です。それぞれの団体が活動をしながらか必要性を感じてつくられた活動拠点。まちをよくしたいという団体同士がつながり、活動を

広げていこうという想いが形になった歴史を持ちます。

大口町の施策「自立と共助」

平成18年、「みんなで進める自立と共助のまちづくり」を基本理念に掲げ、第6次大口町総合計画がスタート。併せて、活動団体の登録や「元氣なまちづくり事業助成金」など、まちづくり活動を応援する制度も整いました。

そんな中、「団体同士がつながり合える活動拠点がほしい」という意見

平成19年

Oh-! TOWNおおぐち構想

参画と参加のまちづくり

第6次大町総合計画基本理念
みんなで進める自立と共助のまちづくり



平成17年7月 町民活動検討会



平成21年2月 町民活動プレセンターオープン



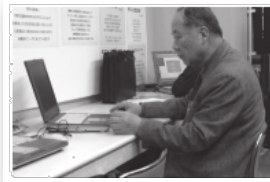
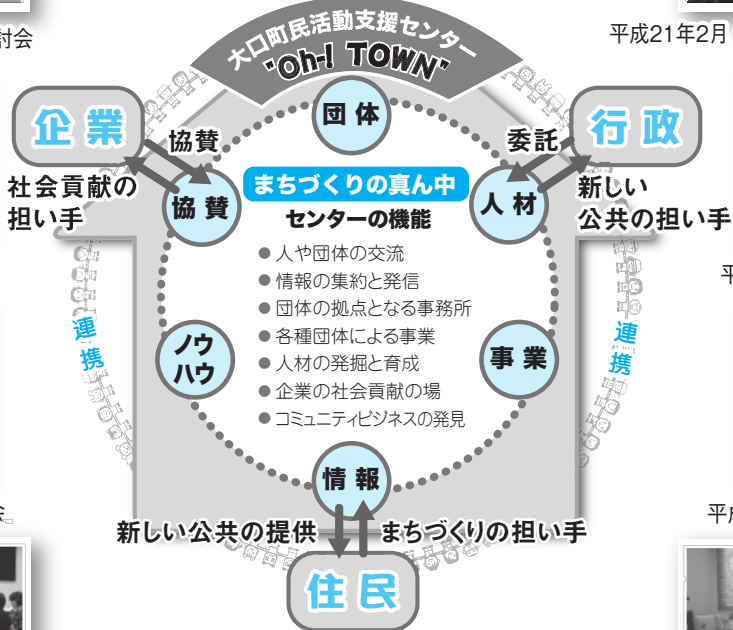
平成18年 町民活動拠点づくり会議



平成19年 まちづくり活動の研修会



平成19年 町民活動仕組み作りについて会議



平成21年4月 まかせてルーム設置



平成21年 まちづくり研修会 STEP1



平成22年4月 町民活動センターに改める

輝く水と緑 元気な暮らし広がる
自治のまち おおぐち

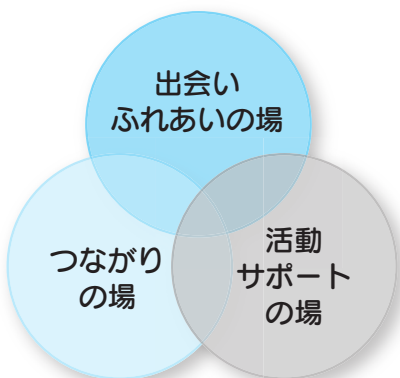
町内で活動しているまちづくり団体は、地域、福祉、芸術文化の振興、子育て、環境保全など多岐にわたります。

大町町をより暮らしやすいまちにしたい！

平成21年2月、ほぼえみプラザ2階のロビーで週3日、各団体の当番制ではじまった町民活動プレセンター。平成21年4月の機構改革で地域振興課が本庁舎へ移動したことで、現在の町民活動センターに移動し、同年11月から専従のスタッフを置くようになりました。

「まずはやれる範囲で自由にやってみよう」という町の方針が、その後の住民主体の運営体制の土台になりました」と。と当時の担当職員は振り返ります。

「まずはやれる範囲で自由にやってみよう」という町の方針が、その後の住民主体の運営体制の土台になりました」と。と当時の担当職員は振り返ります。



▲町民活動センターの機能

まちの元気を生み出す大きな力となっています。どの団体も、大町町をより暮らしやすいまちにしたいという想いは共通です。

町民活動センターには、「出会いふれあいの場」「つながりの場」「活動サポートの場」という3つの機能があります。それをモットーに、会議スペースやコピー機など事務機器の提供のほか、事務代行、講座や、研修の開催、情報発信など、団体活動を充実させるお手伝いをしたり、困りごとの相談に応じるなど皆それぞれの活動をサポートをしています。

『まちねっとと大口』

町民活動センターを管理運営しているNPO法人まちねっとと大口の役割は「中間支援」。住民と企業や行政との間に立ち、それぞれの活動を支援します。

「センターはさまざまな分野で活躍する団体が訪れ、集結する場でもあります。この素晴らしい地域の力を活性化することが大切だと思っています。その新たな可能性を広げるため、さまざまな勉強会へ参加し、皆さんのお役に立てるよう知識を身につけています」と、まちねっとと大口のスタッフ。

まちねっとと大口の前身「まかせてネット」の設立から9年、「NPO法人まちねっとと大口」になってから4年目になります。他市町に先駆けて「自立と共助のまちづくり」の施策を掲げ、住民主体のまちづくりを積極的に応援してきた大口町の歴史と重なり、基盤づくりがひと段落。平成28年の第7次大口町総合計画のスタートとともに、「これからの方向性を模索する時期」にさしかかっています。まちねっとと大口自身が住民活動をサ

ポートする補助的な役割にとどまらず、協働の主体として新しい活動を提案する役割を果たし、大口町の活発なまちづくり活動の象徴として新たなスタートを切るときがきているのかもしれない。

「OHOH-TOWNプロジェクト」から関わり、NPO法人まちねっとと大口の理事長である木野三子さんは、「まちねっとと大口の存在意義は、大口町の人たちにとって暮らしやすいまちになるように活動していくこと。時にはサポートであり、時には船頭の役割であったりもします。スタッフ一同、まちづくりの先を見据え、足りないものを大きな目で見る力を持つよう、努力していきたいと思っています」とこれからの目標と決意を語ってくれました。

『まちづくりの真ん中』がカタチに…

平成19年に策定された地域再生計画「OHOH-TOWNおおぐち構想」が少しずつカタチになってきています。『まちづくりの真ん中』となるセンターに、住民が集い、つながり、広がる事業が増えています。これら



▲ 2017年大口町まちづくり協働フォーラム

の事業を支えているのもまちねっとと大口です。

コミュニティバスサポート事業

町内の企業や歴史・文化を「コミュニティバス」でめぐらせるツアーを計画するなど、バス事業を盛り上げています。

ふれあいまつり事業

団体、企業、行政が一堂に集う、大口町三大イベントの一つ「ふれあいまつり」を開催しています。

多文化共生サポート事業

日本語教室やイベントの開催を通して、在住外国人をサポートしています。

子ども会連絡協議会事務事業

子ども会連絡協議会とともに、子ども会の運営を支援しています。

文化協会事務事業

文化協会の事務をサポートしています。

都市間交流サポート事業

大口町と交流がある市町村の情報を住民の皆さんにお届けします。

シティプロモーション事業

大口町に誇りをもてる住民を増やし、まちの情報や魅力を発信する事業をサポートしています。

取材にて

広報おおぐちの作成やまちづくり団体のチラシ作成など、大口町の情報発信に携わる私たち、大口町NPO登録団体ZOOMも町民活動センターのレンタルスペースで活動をしています。

毎日いろいろな方が利用するにぎやかなセンターは、「コミュニケーションの場」になっていきます。そこから生まれる助け合いや、支え合いの輪が連携につながり「OHOH-TOWNおおぐち構想」をカタチにしているのだと思います。

大口町のまちづくりの最終目標は、全人口の2万3千人がまちづくりに関わるようになること。『みんなの元気！大口の元気』を合言葉に、まちづくりを楽しみましょう。